

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院（基幹型）



労働者健康福祉機構 **新潟労災病院**

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123

FAX：025(544)5210

## 自然の魔力

事務局長 山本 秀明

みなさん、こんにちは。4月に赴任してきました山本です。

ここ上越と同じく、南に山、北に海（日本海・玄界灘）をみる町、北九州・小倉の出身、いわゆる玄海生まれの玄海育ちです。

社会に出てからは関東を中心とした生活が長くなり、海や山を近くに見る機会が少なくなってしまったのですが、上越での生活を始め、海が近く、周囲に山が見えることに安らぎ（興奮かも？）を感じています。

特に、白い雪に覆われた妙高山を間近に見たときはその雄大さに畏敬の念を抱き（少し大袈裟かな）、妙高山の虜となってしまいました。自然の魔力ですね。

ところで、この3月に発生した東北地方大震災。その激震と想像を絶する津波はまさに自然の魔力です。

この魔力は東北地方に未曾有の被害をもたらしました。

その結果、福島第一原子力発電所をはじめ多くの火力発電所も被害に遭い、今年の夏は電力需給が逼迫する事態に陥っているようです。

このような状況の中、5月13日、政府は電力需給緊急対策本部において、夏期の電力需給の見通しと対策を示しています。

これによると、東北電力管内では、需要1,480万kwに対し供給を1,370万kwと想定し、△7.4%の需要抑制が必要とされています。

これを踏まえて需要抑制の目標が示されていますが、その目標は、余震の影響や老朽火力発電所の昼夜連続運転等の技術的リスクを勘案する必要性があるとして、一定の余裕をもたせた△15%とされました。

これにより、当院でも、7月1日から9月9日までの間、平日の9時～20時に、東北電力から購入する電力の△15%を削減しなければなりません。



病院は、放射線機器などの医療機器や、空調などの設備を動かすためにたくさんの電力を使用しています。

当院は、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として高度医療を維持していかなければなりませんし、患者の皆様の健康管理を考慮すると使用電力を削減するには限界があります。

使用電力の削減のために電灯の間引きなどの節電対策をさらに進めていきますが、節電対策だけでは△15%をクリアすることは難しく、東北電力からの電力供給を補完するものとして、院内発電所の稼働を考えています。

費用的な負担が大きいのですが、これも地域医療の維持のためには必要な措置だと考えています。

各家庭についても△15%を目標とした需要抑制が求められています。みなさんも、職場で、また家庭で「自分たちでできること」を考えてみませんか。

注) 5月末、病院は△15%の対象から外されました。しかし、節電は求められています。

## ♪♪♪ 楽しかった看護の日 ♪♪♪

平成23年5月13日(金) 上越タイムス提供

看護の日の十二日、新潟労災病院(上越市東雲町、松原要一病院長)で

# 看護の日に健康意識

## 労災病院で 園児が歌披露



患者や地元住民に、かわいい歌と踊りを披露する園児

看護の日にちなんだイベントが開かれた。同院看護部主催。園児によるコンサートをはじめ、健康体操の実演、医師による講演などが行われた。

各種健康診断や健康・介護相談に引き続き行われたコンサートは、マハヤナ幼稚園の年中・年長児二十五人が出演した。園児は「このほり」「おもちゃのチャチャ」「犬のおまわりさん」を、かわいい振り付けで一生懸命に歌い、患者らを喜ばせた。引き続き看護師がトランポピクスなどを実演。耳鼻咽喉科の朝日香織部長による「アレルギー性鼻炎」に関する講演もあった。同院は看護の日に関連し、看護師の仕事を紹介するポスター展を二十日まで行っている。

# 福島県いわき市での医療支援について

消化器内科部長 前川 智

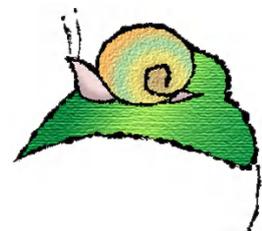


労災機構本部からの要請があり、5月9日～13日まで、新潟労災病院から私を含む医師2名、看護師1名、薬剤師1名、理学療法士1名、事務職員1名で、福島県いわき市で、微力ながら医療支援を行いましたので、その内容を中心に報告させていただきます。

私自身は、5月11日～13日までいわき市で活動を行いました。連日のように報道される余震、福島原発事故などにより、若干の不安をかかえながら、いわき市の地を踏みしめました。私は7年前福島労災病院で1年間消化器科医師として働いており、生活拠点としていた土地でもあり、久しぶりに戻ってきたこととなります。いわき駅に着いた時の印象は、7年前とかけ離れたもので、新しいビルがたくさん建っており、震災前の繁栄ぶりを感じました。

11日は、私は移動日で、新潟労災病院として避難所の巡回が終了してしまっていたので、タクシーでいわき市の小名浜の視察に行きました。小名浜には7年前よくドライブに行ったり、ウニを食べに行ったりしたもので、テレビで悲惨な状況を見て、その現状を把握したい思いがありました。海岸に近付くにつれて、瓦礫の山がそのままの状態になっており、震災復興がまだまだであることを痛感しました。私が食事によく行っていた店も倒壊しており、いたたまれない気分になりました。テレビで見ている時は、この大震災がどこか遠くの国で起こっていることのような錯覚をおぼえましたが、現実を自分の目で見て、身にしみて胸が痛みました。その日の夕方、以前お世話になった福島労災病院へお邪魔させていただきました。江尻副院長をはじめ、私が7年前勤務していた時にいらっしゃった4人の消化器科の先生方にお会いすることができ、夜には食事まで連れて行って頂きました。その時に3月11日以降の悲惨な状況を色々とお聞きすることができました。大震災直後ライフラインがストップし、職員は1週間以上病院で寝泊まりし、シャワーも浴びる事ができなかったこと、食事は非常食しかなく、非常にひもじいものであったこと、原発の風評被害もあり、いわき市の街中はしばらく人が誰も歩いていないゴーストタウンと化してしまったこと、ガソリンがなく、5時間スタンドに並んだけども入れることができなかったこと、ようやくライフラインが復旧した矢先の4月11日の余震でダメ押し被害を受けた家が多数あったことなど先生方が経験した様々な御苦労の一部を教えてくださいました。

12日、13日は、新潟労災病院の他のスタッフと合流し、中央台南小学校、平体育館、内郷コミュニティーセンター、四倉体育館の4つの避難所を巡回しました。私達がいわき市に入る前に、福島医大チームのエコー検査で、深部血栓症の疑いを指摘された方々および頭痛、腹痛、感冒様症状などの体調不良を訴える方々を中心に診察しました。その際、福島



労災病院のソーシャルワーカーの鈴木さん、理学療法士の四家さんが私達に同行してくれました。すでにいわき市の病院、診療所の診療体制は復旧しており、診療の必要性のある方を見極め、近医へ受診するよう斡旋するのが、私の一番の役割でした。ただ、重症度の高い方は、すでに病院に入院しており、基本的には元気な方がほとんどで、医師自体の派遣の必要性は今後乏しいものになると思われました。震災後 2 ヶ月が経過して、ソーシャルワーカーによる社会復帰への介入、理学療法士、作業療法士による高齢者の拘縮予防などのリハビリテーション、メンタルヘルスケアチームによるメンタルケアなどの医療支援が今後さらに必要になるのではないかと思います。鈴木さん、四家さんは毎日 9 時以降まで勤務されているとのこと、過労によるストレスなどが心配です。鈴木さんは、実家が津波で流され、お母さんが避難所暮らしをしているという悲惨な状況ですが、常に笑顔を決やさず、その仕事ぶりには目を見張るものがありました。避難所の方々も、明るくふるまっておられる方が多く、私達が新潟から医療支援に来たことをお話しすると、遠いところ御苦労さまですと逆に私達の労をねぎらって頂けることもありました。

今回のいわき市での医療支援を通じて、この大震災のようなとてつもない災害があった時こそ、チーム医療の重要性が増すことを痛感しました。医療スタッフが協力して、全人的な医療を施すことこそが、今求められていることであると思います。特に医師は、災害直後の患者様の急性期医療、トリアージで重要な意味合いをもつと思われ、福島労災病院で勤務したことがある私が率先して、もっと早い段階で医療支援の必要性を訴えるべきであったと反省しています。さらに、医療支援を受ける側の被災した医療スタッフは、日常診療の忙しさを理解しているが故に、支援をお願いしづらいことも考慮しなければならないと思いました。

このような大災害はもう起こってほしくはありませんが、万が一、大災害が起こった際には、被災していない立場の医療スタッフから、積極的に医療支援に行く覚悟が必要であり、そんな時こそ、医療従事者の真価が問われるのではないかと考えます。



# 6月 一日ドック等の予約状況

平成23年5月23日現在

項目	日にち																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特定健診	×	×	×			—	×	×	×	×			—	×	×	△	×			—
一日ドック	×	×	×			—	×	×	×	×			—	×	×	×	△			—
女性専用外来	—	—	—			—	—	—	—	—			—	—	—	—	—			—
睡眠時無呼吸外来	—	—	—			×	—	—	—	—			×	—	—	—	—			○
禁煙外来	—	—	—			—	○	—	—	—			—	○	—	—	—			—

項目	日にち									
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
特定健診	○	○	×	○			—	×	○	△
一日ドック	×	×	△	△			—	△	△	○
女性専用外来	○	—	—	—			—	—	—	—
睡眠時無呼吸外来	—	—	—	—			○	—	—	—
禁煙外来	○	—	—	—			—	○	—	—

○空きあり △空き少し  
×空きなし  
※子宮がん検査実施日

\* お申込み・お問い合わせ 空き状況等をご確認の上お申し込みください。

医事課医事係 小松

TEL025-543-3123 内線 1233



## 一日ドック検査項目

●基本検査 42,500円(税込)

項目	内容	項目	内容
身体計測	身長 体重 BMI(体格指数) 腹囲	生化学	総蛋白 アルブミン 総ビリルビン クレアチニン 尿酸
	生理		総コレステロール 中性脂肪 HDLコレステロール LDLコレステロール
聴力検査			GOT GPT γ-GTP ALP
呼吸機能検査			空腹時血糖値 HbA1c
尿	尿蛋白 尿糖 尿潜血 PH 比重	血球	赤血球数 血色素量 ヘマトクリット値 MCV MCH MCHC
胸部 腹部	胸部X線		白血球数
	胃内視鏡(経鼻内視鏡)		血小板数
	腹部超音波		血清
便	便潜血(2回分)	血液型(ABO) 血液型(Rh)	
診察	内科診察 質問 情報提供		

## ●オプション検査

項目	内容	金額(税込)
睡眠時無呼吸検査 (要予約)	強いいびき、昼間の眠気、睡眠中に呼吸が止まるなどの不安をお持ちの方にぜひおすすめします。	5,250円
内臓脂肪測定検査	CT検査にてへそのまわりの皮下脂肪と内臓脂肪を直接測定するものです。	3,150円
肺がんCT検査	肺がん、アスベスト(石綿)健康被害の有無等を調べるのに最も有効です。喫煙をやめられない方、肉親にがんの人がいる方はとくにおすすめします。	9,000円
乳がん検査	乳腺の触診とX線撮影のセットです。40歳を過ぎたら2年に1回は検査を受けましょう。	6,000円
前立腺がん検査	血液検査でPSAを測定します。50歳以上で頻尿や排尿困難な方におすすめです。	1,800円
子宮がん検査 (要予約)	診察と子宮の入口である子宮頸部の細胞を採取して検査します。	3,500円
腫瘍マーカー検査	胃がん、大腸がん、膵がん、肝がんなどを調べる血液検査です。	3,050円
骨密度検査	ダイエットの経験のある方、骨が折れやすくなる骨粗鬆症が気になる方におすすめします。	3,600円
肝炎検査	B型肝炎、C型肝炎ウイルスによる感染の有無を調べます。	2,260円
HIV検査	エイズの感染の有無を調べるものです。	1,370円
頸部超音波検査	頸動脈の動脈硬化の有無を調べるもので、めまいやふらつきなどの症状のある方、高血圧、血糖値の異常が続いている方におすすめします。	3,675円
甲状腺機能検査	頸部前面の甲状腺の腫れが疑われる方、手のふるえ、動悸などの症状のある方におすすめします。3種類の甲状腺ホルモンを測定します。	3,675円



## 散歩道



震災から2か月が過ぎ、初夏の風が感じられるようになりました。被災された方々が一日も早く日常の生活に戻れるよう祈るばかりです。

夏場の電力不足が心配されているが、今年はどうでしょうか。築60年の部屋にはエアコン、パソコン、アンプと電気を食いそうなものばかり。夏場はレコードを掛けないし、パソコンはノートで電力は減らせる。問題は日中のエアコン。そういえば、子どもと一緒に幼年野球で日焼けしていた頃は、暑さが気にならなかったのを思い出した。いまから、日差しに慣らしておこうと思います。今年、日焼けした私をみたら節電対策とってください。

みなさんも何か対策を立てておいででしょうか。しかし、暑さで睡眠不足、水分不足なんてことにならないよう、ほどほどにお願いします。

(K. O)

